

令和 6 年 5 月 16 日

住宅局参事官(建築企画担当)付

建築物のライフサイクルカーボン算定ツール試行版を公開しました！

産官学の連携により設置したゼロカーボンビル（LCCO₂ ネットゼロ）推進会議における検討を踏まえ、建築物のライフサイクルカーボン算定ツールである J-CAT の試行版が、本日公開されました。

- 2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、建築物を構成する資材等の製造、運搬、施工、改修、解体に至るまでの建築物のライフサイクル全体において発生する CO₂（以下「ライフサイクルカーボン」という。）削減に向けた取組みが、欧米を中心に始まっています。
- このような動きを受け、産官学の連携により、令和 4 年 12 月に、一般財団法人 住宅・建築 SDGs 推進センター（IBECs）内にゼロカーボンビル（LCCO₂ ネットゼロ）推進会議[※]を設置し、建築物のライフサイクルカーボンの評価方法の開発や、部材・設備等のデータベース問題の検討、海外情報の収集・共有に取り組んでまいりました。

※ 委員長は、村上周三 IBECs 理事長。会議は、国土交通省住宅局の補助事業により運営し、国土交通省住宅局等がオブザーバーとして参加。

- このたび、IBECs において、建築物のライフサイクルカーボン算定ツールである J-CAT（Japan Carbon Assessment Tool for Building Lifecycle）2024.5 試行版が公開されました。

IBECs J-CAT 公表 HP : https://www.ibecs.or.jp/zero-carbon_building/jcat/index.html

- 正式版は本年秋頃に公表予定です。

【問合せ先】

国土交通省 住宅局 参事官（建築企画担当）付
代表電話：03-5253-8111

ライフサイクルカーボンの算定手法の構築

- ・ 欧米を中心に、従来の建築物の使用段階に発生するCO₂の削減だけではなく、その**建設から解体**に至るまでの**建築物のライフサイクル全体を通じたCO₂の削減**に向けた議論が展開。
- ・ このため、産官学の連携により、**ライフサイクルカーボンの評価手法を整備**することを目的に「**ゼロカーボンビル(LCCO₂ネットゼロ)推進会議**」を**2022年12月に設置**し、検討を開始。

ライフサイクルカーボンの範囲

検討体制

ライフサイクルカーボン (ホールライフカーボン)

アップフロントカーボン

エンボディドカーボン

アップフロントカーボン			エンボディドカーボン										
資材製造段階		施工段階	使用段階 (資材関係)			解体段階							
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用※	維持保全	修繕	交換	改修	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理

使用段階 (光熱水関連)

エネルギー消費
水消費

オペレーショナルカーボン

※冷媒・断熱材からのフロン漏洩等を指す。

これまでのターゲット

ゼロカーボンビル (LCCO₂ネットゼロ) 推進会議

委員長：村上周三・一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター理事長

ホールライフカーボン基本問題検討WG

- ツール開発SWG
- データベース問題検討SWG
- 海外情報SWG

連携

建設時GHG排出量算出マニュアル検討会
(不動産協会)